

計画目標年次

1 事業スケジュール

施設整備に関する計画目標年次については、「廃棄物処理施設整備費国庫補助金交付要綱の取扱について（環廃対発第 031215002 平成 15 年 12 月 15 日）『計画目標年次は、施設の稼働予定年度の七年後を超えない範囲内で将来予測の確度、施設の耐用年数、投資効率及び今後の他の廃棄物処理施設の整備計画等を勘案して定めた年度とする。』」を参考として設定します。

したがって、稼働年度より 7 年間で計画処理対象ごみ量が最大となるのは、新資源化施設では資源系（選別・圧縮系）は稼働開始予定年度の令和 9 年度（2027 年度）、粗大ごみ（破碎・選別系）は稼働開始から 5 年目の令和 13 年度（2031 年度）、新ごみ焼却施設では稼働開始予定年度の令和 15 年度（2033 年度）となります。新資源化施設としての目標年次は令和 9 年度（2027 年度）とします。

基本計画では新資源化施設は令和 9 年度（2027 年度）、新ごみ焼却施設は令和 15 年度（2033 年度）をそれぞれ施設整備の計画目標年次とします。

なお、計画目標年次については、今後の検討（メーカーアンケートを含めて）に伴って決定することとします。

【計画目標年次】

資源化施設：令和 9 年度（2027 年度）

資源系（選別・圧縮系） 最大処理年度：令和 9 年度（2027 年度）

粗大ごみ（破碎・選別系） 最大処理年度：令和 13 年度（2031 年度）

ごみ焼却施設：令和 15 年度（2033 年度）

2 事業スケジュールの想定

事業スケジュールの想定は以下のとおりです。

表1 事業スケジュールの想定

項目		年 度		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
既存施設	焼却施設 230 t/日 (115 t/日×2炉)	H8年3月稼働	37年間稼働															
	資源化施設 不燃物処理施設 ペットボトル減容施設	S52年7月稼働 H12年7月稼働	50年間稼働										解体工事					
新施設	資源化施設	計画・調査・設計・工事	27年間稼働															
		循環型社会形成推進地域計画策定	期間: R3~R8(6年間)															
		施設整備基本構想策定																
		各種調査																
		施設整備基本計画策定																
		発注準備																
	設計・工事	R9年度稼働予定	稼働															
	ごみ焼却施設	計画・調査・設計・工事	稼働															
		循環型社会形成推進地域計画策定	期間: R9~R14(6年間)															
		施設整備基本構想策定																
各種調査																		
施設整備基本計画策定																		
発注準備																		
設計・工事	R15年度稼働予定	稼働																